

「ご挨拶」

この冊子は、各界専門家にご指導ご支援を頂きながら、社内のスタッフとの協働でここにお届けできる運びとなりました。

思い立ってから、はや3年。先達に背中を押されるように心が動き、そして実際に手がけ始めて半年、今日に至りました。

ここ数年を振り返ると、特に「お得意様との商談」「国際展示会への参加」「上海の工場幹部との打ち合わせ」など海外渡航の機会に恵まれ、「空の旅人」となり、また多くの方々との「一期一会の出会い」がありました。そしてその「旅」や「出会い」のたびに、わずかずつではありますが沸々と心に去来し、濾過され、心の底に凝縮されてきた「ある思い」が形を整えてまいりました。

それは「ガラスへの深い思い」に他なりません。

この「ガラスへの我々の思い」は「ガラスのデータベース」のような形で少しずつまとめ、折に触れてお得意様の来訪時などの機会を捉え細々とではありますが紹介させていただいてまいりました。

折りしも、当冊子の発行により「我々のささやかな思い」である「ガラスの本当の値打ち」を、そして「ガラスの良さ」を、国内のみならず世界の方々にお伝えできる機会を持つことになりました。まだ小さな試みの一歩に過ぎませんが、近い将来大きな喜びに変わるものと確信しています。

そして「大地の恵み」ともいうべきこの「天然材料」をもっともっと生かせたら、それは真に「ガラスの復権」と呼ぶにふさわしい、新たな時代の息吹となることでしょう。東洋にあって、4000年を超えるガラスという「人類の遺産」を受け継ぎ、生業としてきた私たちの「ささやかな願い」でもあります。

今や「環境問題」は人類共通の喫緊の課題ですが、この冊子では「ガラス容器」とともにその歴史、またさまざまな分野での活用状況などをご紹介しながら「ガラスへの思い」への共感を高めてゆきたいと考えています。

私たちは、薬品、食品、雑貨の分野の製品も製造していますが、主力製品は化粧品用の容器です。愛用されているお客様の代表として「世界のセレブ女性」たちに取材し、その貴重な声も情報発信してゆく予定です。

私たちに代わり、この小冊子が私たちのささやかな思いを世界中の読み手の方々に、少しでも伝えてくれるとしたらそれは望外の喜びです。

3年前の秋、デュッセルドルフの旧市街、ハーフェン通り(Hafenstraße)に面した、ナポレオンゆかりのレストランで奇しくも同席し、共にラリック談義に華を咲かせたあの淑女・紳士のお二人にも、いつの日かこの小冊子が届くことを夢見つつ……。